第23回茨城県少年少女ハンドボール大会兼全国予選会を制し、
さあ全国大会へ

夢をつかんだ新治の闘士（せんしゅ）

「スピード」と「明るさ」が新治クラブの原動力。
関東・全国大会での活躍を期待せずにはいられない！

1 ゴールキーパー
岩井雅岳（新治小６年）
Iwai masataka
キーパーとしては小柄だけど自分より大きい選手のシュートも絶対に止める！

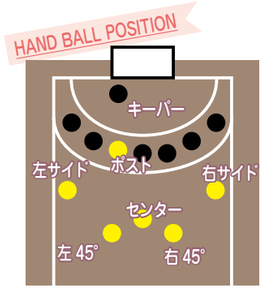
2 左45°
齊藤詩織（新治小６年）
Saito Shiori
正確なジャンプとステップシュートが得意。高校生で日本選抜になるのが夢。（チームのエース）

3 センター
丸山健吾（新治小４年）
Maruyama Kengo
キャプテンとしてみんなをまとめたい！負けたくないのは「技術」と「判断」

8
小倉昂汰（新治小５年）
Ogura kota
キャプテンみたいに力強いシュートを打てるように頑張ります！

9
浅野間大翔（下稲吉東小５年）
Asanoma Hiroto
ステップシュートが得意だけどディフェンスも頑張ります！

11 右サイド
岩井穂貴（新治小４年）
Iwai Hotaka
スピードある速攻でゴールを狙います！（ずばりチームのムードメーカー）



13
大橋栞奈（下稲吉東小５年）
Ohashi Kanna
攻撃にスピードをつけて「速いシュート」を決めたいです。

14
栗原優翔（安飾小５年）
Kurihara Yuto
６月に入部したばかりですが、ベンチからアツイ声援を送ります。

監督
白土克弘先生
Shirato Katsuhiro
新治小の教諭としてクラブを立ち上げて以来、16年にわたりクラブを指導。現在は石岡市吉生小学校に赴任しているが、週２回クラブの指導に新治小学校に通っている。

チームの特徴は「総合力」。目立つ選手が活躍するよりも、組織で１点を取りにいく。そしてスピード。細かいことは教えていませんが、とにかく走らせる。今後いい選手になってほしいと思えばとても大切なことです。

全国大会にはもちろんプレッシャーはあります。目標は予選リーグを突破すること、つまりベスト８目指して総合力で頑張ってきます。

親への感謝を忘れるな」。これは、監督である前に教育者としての言葉。「親への感謝は親からは教えられない。私たちが教えるべきだと思います」名将にはやはり理念がある。

4 右45°
櫻井睦哉（新治小６年）
Sakurai Tomoya
１対１になったら必ず抜く！１試合７得点以上できるようにがんばります！

5 ポスト
藤井駿輔（安飾小５年）
Fujii Shunsuke
自慢の明るさで全国ではスペースを探し、シュートをいっぱい決めるぞ！

6
石原万優子（美並小６年）
Ishihara Mayuko
シュートをきちんとコーナーへ入れるように頑張ります！コツコツと。

7 左サイド
塚田倖正（吉生小５年）
Tsukada Kosei
シュート力をつける練習で、左サイドからゴールを狙います！

明るい笑顔で練習場にやってくる児童。監督の姿はなくてもキャプテンの一声で自主的に練習が始まる。監督や保護者コーチがやってきて本格的な練習が始まる。厳しい練習に耐えているのかと思いきや、和気あいあいでみんな明るい。クラブOBの中学生や高校生が低学年の面倒を見ているかと思えば、その横で赤ちゃんまでボールを持って遊んでいる。この「全員家族」のような風景は強豪スポ少チームのイメージとかけ離れていたが、児童たちは真剣に練習に取り組み、練習の合間も無駄な動きはほとんどなく大変機敏。自立性の高さが伺える。

〔選手が語るチームの強さのヒミツ〕
- ◉なんといっても気持ちが強い！
- ◉今も活躍する先輩たちを、目標にしている
- ◉ディフェンスと速攻がスゴイ！
- ◉弟、妹がほとんどなので、兄弟に負けたくない意地が強い

新治クラブのチーム旗には「和」の文字が記されている。まさにクラブを象徴する一文字。というのもハンドボールは7人で行うスポーツだが、クラブは、ベンチ入りも含め3人の女子が在籍している。しかし、全国の舞台では男女混合の出場枠はない。男子からは「女子が出場できないなら、辞退してもいい」と声が挙がるほどだった。

宿敵守谷クラブを制しての全国の切符は意義がある。男子の部で守谷クラブ以外が茨城代表になるのは今回が初めて。チームは、女子選手を役員登録してベンチ入りさせ、全国大会を戦うことを決めた。関東大会は7月23日から群馬県で、全国大会は7月29日から京都府で行われる。

新治クラブ沿革史

平成７年７月10日創部
平成12年
▶東日本小学生大会準優勝
平成13年
▶県総合選手権兼入江杯大会優勝
平成16年
▶ＨＣ東京ジュニアカップ優勝
平成18年
▶関東少年少女大会優勝
▶東日本小学生大会優勝
▶富里市小学生大会優勝
▶県総合選手権兼入江杯大会優勝
▶読売杯関東ちびっ子大会優勝
▶彩の国カップ小学生大会優勝
▶ＨＣ東京ジュニアカップ優勝
平成19年
▶富里市小学生大会優勝
▶彩の国カップ小学生大会優勝
▶行方杯小学生大会優勝
▶ＨＣ東京ジュニアカップ３位
平成20年
▶東日本小学生大会準優勝
▶富里市小学生大会優勝
平成21年
▶読売杯関東ちびっ子大会（低学年の部）優勝
平成23年
▶県少年少女新人大会優勝
▶県少年少女大会兼全国・関東予選優勝
▶関東少年少女大会出場
▶全国小学生大会出場

先輩からのエール

元木博紀（もときひろき）さん
（日本体育大学２年）
新治クラブ９期生
新治小学校卒
日本代表 U-22 候補

全国大会初出場おめでとうございます。

私も小学２年生から新治クラブに入部してハンドボールを始め、多くの試合に出たい！勝ちたい！と夢中で走り回っていました。一緒に汗だくになって練習していたメンバーやクラブOBの中には、指導者や選手として頑張っている方が大勢います。皆さんも新治クラブで夢のきっかけをつかんでほしい。

どんな大会でも楽に勝てる試合などありません。厳しい展開になろうとこれまで指導を続けてきてくれた白土監督やコーチ、仲間を信じて、最後まであきらめず、全国大会の醍醐味を味わってきてください。また、ハンドボール競技を知らない方も、新治クラブのメンバーの努力と挑戦に多くのエールを送ってあげてください。よろしくお願いします。